

《ファシリテーション》

同じ人を導く立場にあっても、物事を教える先生、トレーニングを行うトレーナーとファシリテーターには違いがある（比較表参照）

AREA	TEACHER 先生	TRAINER トレーナー	FACILITATOR ファシリテーター
Objectives 目的	Educational 教育	Training トレーニング	Learning 学習
Focus 中心となるもの	Curriculum カリキュラム	Training content トレーニング内容	Processes,outcomes 過程と成果
Knowledge base 知識基盤	Self 自分自身	Self 自分自身	Individual & group 個人とグループ
Control Session plans 事業計画（スタイル）	Total Detailed Curriculum 総合的なきめ細かい カリキュラム	Predominant Detailed Session design 配的なきめ細かい セッションデザイン	Flexible Session design, Flexibility in methods used 柔軟なセッションデザイン、用いられる方法の柔軟性
Communication コミュニケーション	One way 一方通行	Participation in specific areas 専門分野での関わり	Very interactive 双方向
Questions 質問	Few ほとんどない	Some 少し	Many たくさん
Decisions Feedback Outcomes 決定 フィードバック 結果	Solo Nil ‘Taught’ 1人で決める なし 「教えられた」	Solo, some Group Discouraged ‘trained’ 1人、またはグループ 改善点をとらえ、のばす 「指導された」	Group consensus Encouraged ‘learned’ グループの統一見解 良いところをのばす 「学んだ」

《コーチングとメンタリング》

コーチングとは

学習者に対し、特別な能力・技術・知識を習得する事を補助することであり、結果を最大限にするために人の能力を伸ばし、手助けする事である

メンタリングとは

学習者の自己開発過程をサポートする事である

メンターとは

助言を与えたり、ロールモデルとなる年長の同僚のような人で、コーチのように到達点を示すのではなく、話し合いを深めることである通常メンターは、メンターされる人の分野や領域に関する豊富な知識や経験を持つ

2014/12/6～7

2014年度 第2回トレーナーセミナー（東京会場）資料

ファシリテーターとは

学び全体を調整・企画できる役割を担う人
ある時には励まし、ある時には助言を与え、またある時は場の雰囲気を作り上げる役割を担います。

ファシリテートするときに役立つ姿勢と価値観

- ① 自分の意見を押しつけない
- ② 人はみなそれぞれユニークな能力を持っている
- ③ 必要な時は教えて良い
- ④ 答えは一つではない
- ⑤ 「自分の知識が全てだ」と思ってはいけない
- ⑥ ファシリテーターは議論に参加しない
- ⑦ 沈黙は許される
- ⑧ 流れを無理に変えない

